

## 今後の当山行事予定

- 御本尊御開扉大護摩供(本堂)

午前6時・10時・11時30分・午後1時30分・3時

- 大般若經転読付大護摩供法要(本堂)  
午前11時30分

樂府二譜

- 七五三詣り(10月1日)

卷之三

納め不動(12月28日)

- | (平日)            | 午前7時・10時・11時30分 |
|-----------------|-----------------|
| 午後1時30分・3時      | 午前7時・10時・11時30分 |
| 午前7時・10時・11時30分 | 午前7時・10時・11時30分 |

10・11月28日) 午前6時・10時・11時30分

- 午後1時30分・3時

納め不動(12月28日)

日々のお護摩祈祷

- 平日) 午前7時・10時・11時30分  
土・日・祝) 午前7時・10時・11時30分・午後1時30分・3時  
(毎月28日) 午前6時・10時・11時30分・午後1時30分・3時

交通安全祈願

- 午前9時より午後4時まで  
毎時0分／30分の30分毎

## 仏具磨きの日のお知らせ

9月25日 10月26日 11月25日 12月25日  
この日は化粧磨きの日ですので、朝7時のお勧めだけです。

状況と言われています。瀧谷山の行事も今後変更になる場合があります。詳しく述べは公式ホームページなどで随時ご案内いたしますので、ご確認くださいませ。



編集人

瀧谷山ホームページ <http://www.takidanifudouson.or.jp>

えた人はきっと多いことだろう。それこそがまさしく諸行無常の風に触れたという証しであり、自己を深く洞察する端緒となる。

利かせの人生に詰り無牢の中にある。そのことを肚の真ん中に据えて生きることが肝要で、これを体得すればするほどに自分の周囲に繰り広げられる万事は円満この上ない。禍福は糾える縄の如しといわれる人生を妙味として楽しむことにもつながる。

# 澠谷山報



（恒武天皇の子である伊予親王に講義をしていたといわれています。）  
弘法大師は十五歳になると、この大足について上京し、「論語」や「孝経」といった儒教の文献を学びました。後に自分自身で振り返って、この当時かなり勉学に励んでいたことを強調しており、大足からさまざまな教養を受けられたことが推測されます。

十八歳で大学へ。儒教の書物を研究する明経科に入学します。当時の大学寮といえば、貴族の子が官僚となるために儒学や漢詩などを学ぶ場でした。非常に優秀だったとされる弘法大師ですから、周囲からはこのまま大学で学び、ゆくゆくは立派な官僚になることを望まれていてしまう。それでも弘法大師は厳しい仏の道を求めるのです。

あり、この三教とは儒教・道教・仏教のことを指しています。内容は小説仕立てになつており、三人の登場人物にそれぞれの教えについて語らせ、特性や優劣を論じています。

弘法大師はこの書の序文である僧侶との出会いを述懐しています。その僧侶から「虚空藏菩薩求聞持法」という修行法を授かり、四国遍路の地でもある阿波・大瀧嶽・土佐・室戸岬などで修行をしたことが語られます。この修行法は百日間、あるいは五十日間で虚空菩薩の真言を百万遍唱えるというもので、「見聞きしたあらゆる経典等を漏らすことなく憶持し、忘れないようになる」というご利益があります。一説には、弘法大師は室戸岬の洞窟に籠つてこの修行をしたとされ、その時、洞窟の入り口からの外界の眺めは空と海だけが広がつていたことから、名を空海と称するようになった、と伝え

第に都での栄達に対する興味が生じ、今は時流のにつて華やかな暮らしをしていてもやがては老いて死んでいく人間のはかなさに思いを馳せます。また、体の不自由な人も貧しさに苦しむ人を見るにつけ、よいよ仏道や出家への思いがその心を占めていきます。

そして弘法大師は大学を去り、本格的に仏道を歩み始めようともますが、大学での知人や、弘法大師に教養を受けた叔父の大足はこれに猛反対しました。大学で官僚となるべく学んできた儒教の教えは父母や主君のために尽くし、学問に励み、家庭を築き、子孫繁榮や立身出世を目指すことを勧めており、出家して僧侶になることはそれらに反するというわけです。

このように出家や仏道修行について無理解で、まったく聞く耳を持たない周囲の人々の反対をうけて著したのが、先ほど挙げた『聾瞽指

うにはかなく、ほんの少しもとどまつてることはないのだと説きます。こうして死んでいくては、また生まれ変わつて人や動物、あるいは生前の罪によつて地獄などに生じることもある、この絶えず繰り返される輪を生死輪廻といいます。「聾瞽指帰」の中では、儒教も道教も、今生を生きる中で実践する者をより良い高みへ導いてくれる素晴らしい教えを語りますが、仏教は生まれ変わり死に変わりする、この繰り返しこそ厭うべきだと語ります。この生死輪廻を超えること、その術を説く仏教を弘法大師は志すことにしたのです。

このように、仏の教えこそ優れていると述べる『聾瞽指帰』は、弘法大師にとりまさしく「出家宣言書」であったといわれます。この数年後に弘法大師は出家得度し、さらなる修行の道を歩んでいくこととなります。続きはまた次回。

弘法大師

兼ねてよりご案内しております  
ように、来る令和三年、当山は開  
創一千二百年の大きな節目を迎  
えます。また、当山の開基と伝え  
られる弘法大師空海さまは令和  
五年に生誕一千二百五十年を迎  
えられます。

大師一刀三札の作と伝えられ、お寺は真言宗智山派に属しています。

て密教を学び、その教えを日本へ持ち帰つて真言宗を開いた人物として知られています。しかし、これほどまでに偉大な人物も、最初から完成させていたわけではなく、さまざまな経験を通して思い発ち、自ら厳しい修行をおさめた結果、人々のために教えを弘めるに至つたことでしょう。

弘法大師といえば四国遍路を思  
い浮かべる方もあるでしょう。海に  
囲まれ、切り立つた崖や、険しい  
山々を頂くその地で弘法大師も嚴



あります。が讃岐の国(今の香川県)で誕生したといわれています。幼い頃の名前は真魚まおといいました。

父は佐伯氏、母は阿刀氏の人で、この両氏からは著名な僧侶が輩出しました。佐伯氏においては弘法大師のほか、実弟でのちに東寺の最高責任者となる真雅、甥にあたる智泉と真然、真言宗以外では天台宗の円珍がその血統であるといわれています。阿刀氏の系統では、行基の師でもあつた義淵ぎえんをはじめとして、その弟子筋にあたる玄昉げんぽう、道鏡どうきょうら

この修行を通して弘法大師は世俗を離れて山野に親しむうち、次第に都での栄達に対する興味が失せ、今は時流にのって華やかな暮らしをしていてもやがては老いて死んでいく人間のはかなさに思いを馳せます。また、体の不自由な人や貧しさに苦しむ人を見るにつけてよいよ仏道や出家の思いがその心を占めていきます。

そして弘法大師は大学を去り、本格的に仏道を歩み始めようとしていますが、大学での知人や、弘法大師に教養を受けた叔父の大足はこれに猛反対しました。大学で官僚となるべく学んできた儒教の教えでは父母や主君のために尽くし、学間に励み、家庭を築き、子孫繁栄や立身出世を目指すことを勧めており、出家して僧侶になることはそれらに反するというわけです。

このように出家や仏道修行について無理解で、まったく聞く耳を持たない周囲の人々の反対をうけて著したのが、先ほど挙げた『聲瞽指

帰』であつたとされます。弘法大師の目指す仏の教えでは、個人や家の成功も、一瞬光つて消える雷のようにはかなく、ほんの少しもとどまつてることはないのだと説きます。こうして死んでいっては、また生まれ変わつて人や動物、あるいは生前の罪によって地獄などに生じることもある、この絶えず繰り返される輪を生死輪廻といいます。『聾瞽指帰』の中では、儒教も道教も、今生を生きる中で実践する者をより良い高みへ導いてくれる素晴らしい教えを語りますが、仏教は生まれ変わり死に変わりする、この繰り返しこそ厭うべきだと語ります。この生死輪廻を超えること、その術を説く仏教を弘法大師は志したことでしたのです。

このように、仏の教えこそ優れていると述べる『聾瞽指帰』は、弘法大師にとりまさしく「出家宣言書』であったといわれます。この数年後に弘法大師は出家得度し、さらなる修行の道を歩んでいくこととなります。続きはまた次回。

路ではその四県である徳島・高知・愛媛・香川をそれぞれ発心・修行・菩提・涅槃の道場と呼びます。このローラーではム法大師の二

さてまず一回目は発心です。発心とは「發菩提心」のこと、「菩提提心」すなわち「さとり」をみずからも得た、と思ひ立つことを言いま

春季大祭二報告  
柴燈大護摩供中止

現下の新型コロナウイルス感染症  
蔓延を受け、当山ではまことに残  
念ながら春季大祭の柴燈大護摩供  
を中止することとなりました。

觀世音菩薩夏祭り ご報告

当山では七月十八日を衛世音菩薩夏祭りとして、施餓鬼回向、精靈回向法要ならびに法話、落語などの行事がございましたが、本年は新型コロナウイルス等の事情を鑑み回向法要のみをお勤めいたしました。

当日は観音堂前の道場にて、お戒名を書いた経木をお供えし、僧侶により一体一体経木が読み上げられました。

たくさんの方々にお参りをいたしましたが、新築客殿棟にてお勤めするご案内のこと、境内でのお勤めとなり、暑い中ご不便をおかけいたしました。

来年は客殿棟にて法要、行事を執り行う予定をしておりますので、

地蔵盆とは子供のためのお祭りで  
あり、子供の健やかな成長を願つて  
お地蔵様を供養する行事のことです。  
言います。お地蔵様のことを「地蔵菩薩」  
(はさつ)といますが、この地蔵菩薩の  
縁日(えんにち)（毎月二十四日）を「地蔵会」と  
呼びます。特に旧暦の七月二十四日  
前後二、三日間に行われる地蔵菩

地蔵盆の由来には諸説あります。  
ですが、仏教では、親よりも先に亡くなつてしまつた子どもは、三途の川にある賽の河原で石を積まなければ成仏が叶わないとされていました。しかし、ある程度高く積みあがると、そこへ鬼がやってきて塔を壊してしまいます。このことをかわいそうに思った地蔵菩薩は、自分が子供達の親となつて守り、成仏へと導きました。それ以降、町角などに地蔵菩薩を祀り、子供達の幸せや健康を願う民間信仰が広まつていつたとされています。

し、御信徒皆様のお子様の健やかな成長をご祈念いたしました。皆様からお供えいただいたお菓子は、お地蔵様のお下がりとしてお参りの子供達に配りました。

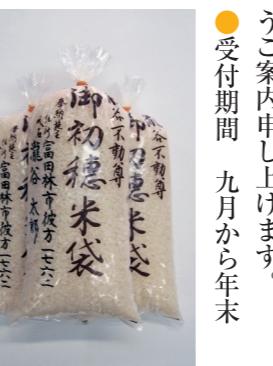
前述したように弱い者を助けようとする慈悲深いお地蔵様の姿は変わりません。そういうことから地蔵盆が子供達の成長を願うためのお祭りであると言われる所以なのかもしません。

近年では、少子化の影響もあり地蔵盆に参加をする子供の数が少なくなってきています。長い歴史のある地蔵盆を次の世代に繋げていくためにも、子供達に地蔵盆の意味を伝え、積極的に参加されてみてはいかがでしょうか。

地藏益 二報告曰

と前垂れを衣替えしておめかしを  
し、御信徒皆様のお子様の健やかな

今年もお初穂米のお供えをお願いする時季となりました。



えされたお初穂米

九月二十八日 秋季大祭

柴登大護摩供



### 過去の春季大祭 柴燈大護摩供の様子

- 先の通り、春季大祭 柴燈大護摩供中止の事態を受けまして、九月二十八日の秋季大祭にて天下泰平・万民富楽・疫病退散・罹患者平癒を祈願する大般若經転読付大護摩供ならびに柴燈大護摩供を厳修いたします。

本堂では午前十一時半の大護摩供に際し、『大般若經』六百卷を作法に則つて転読する大般若經転読法要が勤められます。

午後一時頃より、境内にて瀧峰大護摩講所属の修驗者によつて柴燈大護摩供が勤められます。柴燈書かれた添え護摩木を火中に投じ、所願成就を祈念いたします。

- 午前6時  
御本尊開扉大護摩供  
午前11時30分



七五三のお参り

## 七五三詣りのご案内

平日	午前7時・10時・11時30分
土・日・祝	午前7時・10時・11時30分
午後1時30分・3時	

晋书

十一月二十八日 午前6時・10時・11時 30分  
午後1時30分・3時

おまわりについて

現時点ご祈祷は定時にお勤めする予定ですが、今後の新型コロナウイルス感染症感染拡大状況によっては内容を変更する場合がござります。事前にお問い合わせいただかずか、当山HPをご覧ください。

<http://www.takidanifudouson.or.jp/>



今回から時折々のお寺の行事とともに受けつがれてきたお寺のことゆえおもいます。何分素人のことゆえお目だるき点はご容赦願います。

当山では年に三回大祭が勤められます。正月、五月、九月の二十八日には近隣の組寺からご住職方のご助法をいただき、大般若經の転読法要が盛大につとめられて多くの信者さまがお参りになります。その中でも五月の大祭は盛大で、柴燈護摩もつとめられますので裏方といたします。手もまわらずゆきとどかなことこの上ありません。しかし九月はまだまだ暑い盛り、しかも膳をお出しするのはご寺院の方のみなので、少しばかり工夫も凝らしてお出しします。

ご信徒皆様方には公私何かとご多端の中ご信援をたまわりましたこと、心より厚く御礼申し上げますとともに、厚かましいお願いで眞に恐縮ながら、来年五月の落慶法要まで記念事業ご寄附の受付をいたしておりますので、何卒宜しくお願い申し上げます。



寺務棟・客殿棟完成



完成予想図

## 令和三年 開創一千二百年 記念事業経過報告 並ご奉讚お願い

当山では来る令和三年の開創一千二百年祝祷法要記念事業として寺務棟・客殿棟の新築を進めてまいりましたが、寺務棟は一

昨年末に完成、二期工事の客殿棟も今年七月末に完成引き渡しを受けることができました。今後は内部の細かな仕上げや外構工事、また作庭などを進める予定であります。できるだけ早く客殿棟が実働出来ますよう、鋭意準備を進める所存でございます。

もう暫くの間、どうぞ楽しみにお待ちくださいませ。

総事業費十二億円 客殿棟・寺務棟新築

### お寺のごはん

そんな中からまずこの度は芋茎と巨峰の酢の物です。

### 仕上げ

芋茎と巨峰を三杯酢でざつくりと和えてもりつけ、芽しそをてんもりにします。

1 芋茎と巨峰の酢の物

今回から時折々のお寺の行事とともに受けつがれてきたお寺の料理をご紹介してゆきたいとおもいます。何分素人のことゆえお目だるき点はご容赦願います。

### 下ごしらえ

一、芋茎は皮をむいて四～五センチに切り、幅も一センチほどに

十八日には近隣の組寺からご住

職方のご助法をいただき、大般

若經の転読法要が盛大につとめ

られて多くの信者さまがお参り

になります。その中でも五月の大祭は盛大で、柴燈護摩もつとめられますので裏方といたしま

す。手もまわらずゆきとどかな

ことこの上ありません。しかし

九月はまだ暑い盛り、しか

もしも膳をお出しするのはご寺院

方のみなので、少しばかり工夫も

凝らしてお出しします。

とともに受けつがれてきたお寺の料理をご紹介してゆきたいとおもいます。何分素人のことゆえお目だるき点はご容赦願います。

当山では年に三回大祭が勤められます。正月、五月、九月の二十八日には近隣の組寺からご住職方のご助法をいただき、大般若經の転読法要が盛大につとめられて多くの信者さまがお参りになります。その中でも五月の大祭は盛大で、柴燈護摩もつとめられますので裏方といたします。手もまわらずゆきとどかなことこの上ありません。しかし九月はまだまだ暑い盛り、しかしも膳をお出しするのはご寺院方のみなので、少しばかり工夫も凝らしてお出しします。

芋茎は皮をむいて四～五センチに切り、幅も一センチほどに

十八日には近隣の組寺からご住

職方のご助法をいただき、大般

若經の転読法要が盛大につとめ

られて多くの信者さまがお参り

になります。その中でも五月の大祭は盛大で、柴燈護摩もつとめられますので裏方といたしま

す。手もまわらずゆきとどかな

ことこの上ありません。しかし

九月はまだ暑い盛り、しかし

も膳をお出しするのはご寺院

方のみなので、少しばかり工夫も

凝らしてお出しします。

当山では年に三回大祭が勤められます。正月、五月、九月の二十八日には近隣の組寺からご住職方のご助法をいただき、大般若經の転読法要が盛大につとめられて多くの信者さまがお参りになります。その中でも五月の大祭は盛大で、柴燈護摩もつとめられますので裏方といたします。手もまわらずゆきとどかなことこの上ありません。しかし九月はまだ暑い盛り、しかしも膳をお出しするのはご寺院方のみなので、少しばかり工夫も凝らしてお出しします。

芋茎は皮をむいて四～五センチに切り、幅も一センチほどに

十八日には近隣の組寺からご住

職方のご助法をいただき、大般

若經の転読法要が盛大につとめ

られて多くの信者さまがお参り

になります。その中でも五月の大祭は盛大で、柴燈護摩もつとめられますので裏方といたしま

す。手もまわらずゆきとどかな

ことこの上ありません。しかし

九月はまだ暑い盛り、しかし

も膳をお出しるのはご寺院

方のみなので、少しばかり工夫も

凝らしてお出しします。

当山では年に三回大祭が勤められます。正月、五月、九月の二十八日には近隣の組寺からご住職方のご助法をいただき、大般若經の転読法要が盛大につとめられて多くの信者さまがお参りになります。その中でも五月の大祭は盛大で、柴燈護摩もつとめられますので裏方といたします。手もまわらずゆきとどかなことこの上ありません。しかし九月はまだ暑い盛り、しかしも膳をお出しのは

芋茎は皮をむいて四～五センチに切り、幅も一センチほどに

十八日には近隣の組寺からご住

職方のご助法をいただき、大般

若經の転読法要が盛大につとめ

られて多くの信者さまがお参り

になります。その中でも五月の大祭は盛大で、柴燈護摩もつとめられますので裏方といたしま

す。手もまわらずゆきとどかな

ことこの上ありません。しかし

九月はまだ暑い盛り、しかし

も膳をお出しのは

芋茎は皮をむいて四～五センチに切り、幅も一センチほどに

十八日には近隣の組寺からご住

職方のご助法をいただき、大般

若經の転読法要が盛大につとめ

られて多くの信者さまがお参り

になります。その中でも五月の大祭は盛大で、柴燈護摩もつとめられますので裏方といたしま

す。手もまわらずゆきとどかな

ことこの上ありません。しかし

九月はまだ暑い盛り、しかし

も膳をお出しのは

芋茎は皮をむいて四～五センチに切り、幅も一センチほどに

十八日には近隣の組寺からご住

職方のご助法をいただき、大般

若經の転読法要が盛大につとめ

られて多くの信者さまがお参り

になります。その中でも五月の大祭は盛大で、柴燈護摩もつとめられますので裏方といたしま

す。手もまわらずゆきとどかな

ことこの上ありません。しかし

九月はまだ暑い盛り、しかし

も膳をお出しのは

芋茎は皮をむいて四～五センチに切り、幅も一センチほどに

十八日には近隣の組寺からご住

職方のご助法をいただき、大般

若經の転読法要が盛大につとめ

られて多くの信者さまがお参り

になります。その中でも五月の大祭は盛大で、柴燈護摩もつとめられますので裏方といたしま

す。手もまわらずゆきとどかな

ことこの上ありません。しかし

九月はまだ暑い盛り、しかし

も膳をお出しのは

芋茎は皮をむいて四～五センチに切り、幅も一センチほどに

十八日には近隣の組寺からご住

職方のご助法をいただき、大般

若經の転読法要が盛大につとめ

られて多くの信者さまがお参り

になります。その中でも五月の大祭は盛大で、柴燈護摩もつとめられますので裏方といたしま

す。手もまわらずゆきとどかな

ことこの上ありません。しかし

九月はまだ暑い盛り、しかし

も膳をお出しのは

芋茎は皮をむいて四～五センチに切り、幅も一センチほどに

十八日には近隣の組寺からご住

職方のご助法をいただき、大般

若經の転読法要が盛大につとめ

られて多くの信者さまがお参り

になります。その中でも五月の大祭は盛大で、柴燈護摩もつとめられますので裏方といたしま

す。手もまわらずゆきとどかな





令和二年六月以降にご寄進いたたいた方の御芳名は、次号以降に掲載いたします。

堺市	大阪市
藤井寺市	堺市
八尾市	兵庫県
堺市	藤井寺市
河内長野市	大阪市
松原市	岸和田市
堺市	泉佐野市
河内長野市	河内長野市
柏原市	羽曳野市
柏原市	羽曳野市
堺市	富田林市
河内長野市	富田林市
大阪市	河内長野市
富田林市	河内長野市
大東市	河内長野市
枚方市	河内長野市
河内長野市	河内長野市
千早赤阪村	河内長野市
奈良県	河内長野市
熊取町	河南町

開創一千二百年記念事業  
寄進者御芳名（敬称略・順不同）

大阪狭山市  
堺市  
大阪市  
河内長野市  
兵庫県

百万円以上	五十万円以上	三十万円以上	十万円以上	五万円以上	三万円以上	一万円以上
同右	同右	同右	同右	同右	同右	山報に御芳名を掲載いたします。
同右	同右	同右	同右	同右	同右	御芳名簿に記入して客殿 仏間に納め、永く家門繁 栄を祈念いたします。
同右	同右	同右	同右	同右	同右	御芳名を記入した板札を 境内の建札台に掲げ、広 く顕彰いたします。
同右	同右	同右	同右	同右	同右	受付時に記念品を進呈 し、落慶時にご案内をいた します。
同右	同右	同右	同右	同右	同右	記念品を進呈いたします。 落慶法要にご案内して